IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240

ソフトウェアマニュアル

訂正資料

Ver.2.8 **以降対応版**

855-040096-190-A 2N

■はじめに

このマニュアルは，以下に示す IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 シリーズ　ソフトウェアマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル名	マニュアル番号	発行
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアルコンフィグレーションガイド Vol.1（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S001-A0	2018 年 3 月
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアルコンフィグレーションガイド Vol.2（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S002-A0	2018 年 3 月
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアルコンフィグレーションコマンドレファレンス（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S003-A0	2018 年 3 月
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアル運用コマンドレファレンス（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S004-A0	2018 年 3 月
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアルメッセージ・ログレファレンス（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S005-A0	2018 年 3 月
IP8800/S2200・IP8800/S2100・IP8800/SS1250・IP8800/SS1240 ソフトウェアマニュアル MIB レファレンス（Ver.2.7 対応）	IP8800SS1240-S006-A0	2018 年 3 月

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ，必要な手続きをお取りください。
なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ethernet は，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
GSRP は，アラクサラネットワークス株式会社の登録商標です。
Microsoft は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
RSA，SecurID については RSA Security Inc.の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Wake on LAN は，IBM Corp.の登録商標です。
MagicPacket は，Advanced Micro Devices,Inc.の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

２０１９年　1月　（第２版）

■著作権

Copyright(C) NEC Corporation 2018,2019. All rights reserved.

変更内容

■第 2 版の変更内容

表　変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
コンフィグレーションガイド Vol.1	「1　本装置の概要」 PoE 対応を変更しました。
	「2　装置構成」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
	「3　収容条件」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
	「12　省電力機能」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
	「14.10　PoE の解説【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】」 IP8800/S2130-16P を追加しました。
コンフィグレーションガイド Vol.2	「18　アップリンク・リダンダント」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
コンフィグレーションコマンドレファレンス	「1　このマニュアルの読み方」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
	「7　装置の管理」 下記のコマンドを変更しました。 system fan mode system temperature-warning-level system temperature-warning-level average
	「8　イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 duplex speed
運用コマンドレファレンス	「1　このマニュアルの読み方」 IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P を追加しました。
	「7　装置の管理」 下記のコマンドを変更しました。 show version show environment
	「14　イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 show power inline activate power inline inactivate power inline
MIB レファレンス	下記を変更しました。 2.13　powerEthernetMIB グループ(Power EthernetMIB)【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】 3.13　ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB） 3.14.1　ax2130sChassis グループの実装仕様（筐体情報）

マニュアル名	追加・変更内容
	3.14.4　ax2130sChassis グループの実装仕様（ファン情報）

■第 1 版の変更内容

表　変更内容

マニュアル名	追加・変更内容
コンフィグレーションガイド Vol.1	「14　イーサネット」 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時の注意事項を追加しました。
コンフィグレーションコマンドレファレンス	「7　省電力機能」 下記のコマンドを変更しました。 power-control port cool-standby schedule-power-control port cool-standby
	「8　イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 duplex mdix auto speed
運用コマンドレファレンス	「14　イーサネット」 下記のコマンドを変更しました。 show interfaces show port
メッセージ・ログレファレンス	「2.5.2　イベント発生部位＝SFP」を変更しました。 「2.5.3　イベント発生部位＝FABRIC」を変更しました。
MIB レファレンス	「3.14.6　ax2130sChassis グループの実装仕様（line（物理回線）情報）」を変更しました。

目次

第 1 編　コンフィグレーションガイド Vol.1 7
第 2 編　コンフィグレーションガイド Vol.2 26
第 3 編　コンフィグレーションコマンドレファレンス 28
第 4 編　運用コマンドレファレンス 43
第 5 編　メッセージ・ログレファレンス 61
第 6 編　MIB **レファレンス** 64

1　本装置の概要

1.2　本装置の特長

変更

(8)　PoE 対応　　［Ver.2.9 以降］

(8)　PoE 対応

● IP 電話機，無線 LAN AP などの PD（受電装置）を収容（IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-16P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1240-24P2C）

・電力線配線工事をなくし，ケーブル増による煩わしさを減らすと同時に電力線配線コストを削減，工事期間の短縮を実現

・最大供給電力

IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1240-24P2C：370.0W

IP8800/S2130-16P：250W

・IEEE802.3af のフル給電（Class 3：15.4W）で，以下のポートで同時給電可能

IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1240-24P2C：24 ポート

IP8800/S2130-16P：16 ポート

・IEEE802.3at（Class 4：30.0W）に対応し，Class 1～Class 3 と任意に混在可能

・ポート 0/1～0/4 は 60W 給電機能に対応【IP8800/S2200】

2　装置構成

2.1　本装置のモデル

変更

表 2-1　最大ポート数ごとの対応モデル　［Ver.2.9 以降］

表 2-1　最大ポート数ごとの対応モデル

最大ポート数による分類　※		対応モデル
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	24 ポート	IP8800/S2230-24T
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（PoE/PoE Plus）	20 ポート	IP8800/S2230-24P
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（PoE/PoE Plus/60W 給電機能）	4 ポート	
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	16 ポート	IP8800/S2130-16T
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（PoE/PoE Plus）	16 ポート	IP8800/S2130-16P
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	24 ポート	IP8800/S2130-24T
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（PoE/PoE Plus）	24 ポート	IP8800/S2130-24P
1000BASE-X	4 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX	24 ポート	IP8800/SS1250-24T2C
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T または 1000BASE-X	2 ポート	IP8800/SS1240-24T2C
10BASE-T/100BASE-TX	48 ポート	IP8800/SS1240-48T2C
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T または 1000BASE-X	2 ポート	
10BASE-T/100BASE-TX（PoE/PoE Plus）	24 ポート	IP8800/SS1240-24P2C
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T または 1000BASE-X	2 ポート	

注※

同時に使用できる最大ポート数については,「3.1　搭載条件」を参照してください。

2.1.1　装置の外観

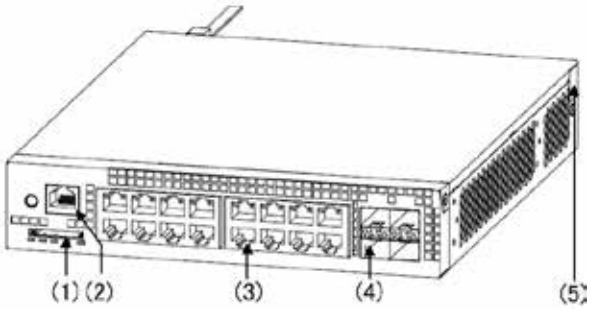
(2)　IP8800/S2100 シリーズ

追加

図 2-2a　IP8800/S2130-16T **モデル**　［Ver.2.9 **以降**］

図 2-2b　IP8800/S2130-16P **モデル**　［Ver.2.9 **以降**］

図 2-2a　IP8800/S2130-16T **モデル**



(1)　メモリカードスロット

(2)　CONSOLE ポート

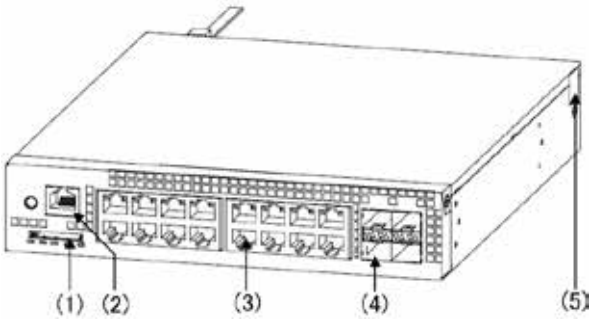
(3)　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T イーサネットポート

(4)　SFP スロット

(5)　封印シール

各部位の詳細は,「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

図 2-2b　IP8800/S2130-16P **モデル**



(1)　メモリカードスロット

(2)　CONSOLE ポート

(3)　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T イーサネットポート（PoE/PoE Plus）

(4)　SFP スロット

(5)　封印シール

各部位の詳細は,「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。

2.2　装置の構成要素

2.2.1　ハードウェア

(2)　IP8800/S2100 シリーズ

追加

図 2-10a　**ハードウェアの構成**（IP8800/S2130-16T **モデル**）　［Ver.2.9 **以降**］

図 2-10b　**ハードウェアの構成**（IP8800/S2130-16P **モデル**）　［Ver.2.9 **以降**］

図 2-10a　**ハードウェアの構成**（IP8800/S2130-16T **モデル**）

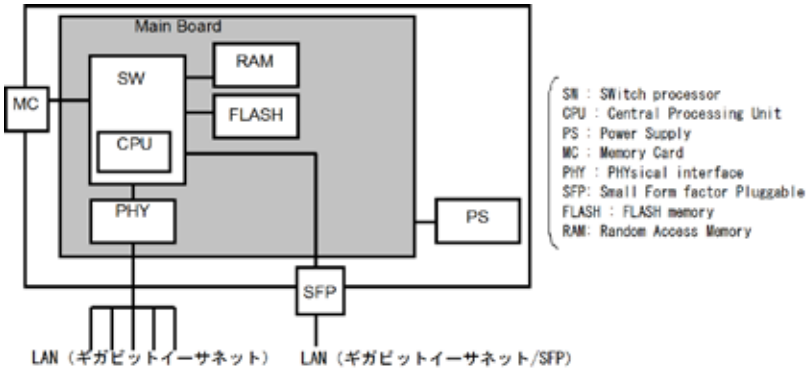
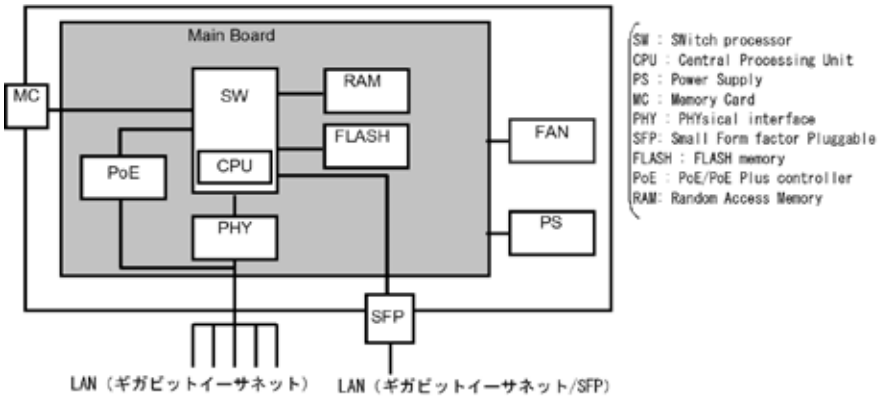


図 2-10b　**ハードウェアの構成**（IP8800/S2130-16P **モデル**）



装置筐体には，メインボード，PS，FAN が含まれています。

(a)　メインボード

メインボードは CPU 部，SW 部，MC，FLASH 部，PHY 部，PoE 部から構成されます。

・CPU 部（Central Processing Unit）
装置全体の管理，PHY 部の制御，各種プロトコル処理をソフトウェアで行います。
ソフトウェアは FLASH 部に搭載される内蔵フラッシュメモリに格納されます。

・SW（Switch processor）
L2 フレームのスイッチングを行います。SW 部はハードウェアによる MAC アドレス学習/エージング，リンクアグリゲーション，フィルタ/QoS テーブル検索，自宛/自発フレームの DMA 転送を行います。これによって高速なフレームのスイッチングを実現します。

・MC（Memory Card）
MC スロットです。MC には SD カードを使用しており，コンフィグレーションファイルの格納，障害情報の保存に用います。
・FLASH 部（FLASH memory）
ソフトウェア／コンフィグレーションファイル／ログ情報が格納されます。
・PHY（Physical Interface）
各種メディア対応のインタフェース部です。
・PoE 部（PoE/PoE Plus）（IP8800/S2130-16P，IP8800/S2130-24P）
ギガビットイーサネットポートで，受電装置に最大 30W/ポートの電力を給電します。
IP8800/S2130-16P：0/1～0/16，IP8800/S2130-24P：0/1～0/24

(b)　PS（Power Supply）

PS は外部供給電源から本装置内で使用する直流電源を生成します。PS を交換する場合は，本装置を停止させ，本装置自体を交換する必要があります。

(c)　FAN（IP8800/S2130-16P，IP8800/S2130-24P）

本装置は装置内部を冷却するための FAN を装備します。

3　収容条件

3.1　搭載条件

3.1.1　収容回線数

変更

表 3-1　最大収容可能回線数　［Ver2.9 以降］

表 3-1　最大収容可能回線数

モデル	イーサネット				
	10BASE-T/100BASE-TX	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	100BASE-FX	1000BASE-X	1000BASE-T ※3
	UTP	UTP	SFP	SFP	SFP
IP8800/S2230-24T	―	24	―	4	―
IP8800/S2230-24P	―	20　※1 4　※2	―	4	―
IP8800/S2130-16T	―	16	―	4	
IP8800/S2130-16P	―	16　※1	―	4	
IP8800/S2130-24T	―	24	―	4	
IP8800/S2130-24P	―	24　※1	―	4	
IP8800/SS1250-24T2C	24	2　※4	2　※4		―
IP8800/SS1240-24T2C	24	2　※4	―	2　※4	―
IP8800/SS1240-24P2C	24　※1	2　※4	―	2　※4	―
IP8800/SS1240-48T2C	48	2　※4	―	2　※4	―

（凡例）―：該当なし。

注※1

PoE/PoE Plus 対応ポートです。

注※2

PoE/PoE Plus 60W 給電機能対応ポートです。

注※3

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用の SFP-T を使用した場合，1000BASE-T で使用できます。

注※4

排他使用（同時使用不可）です。

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T を使用した場合は，その使用回線数をマイナスした値が SFP の収容回線数になります。

3.2　収容条件

3.2.3　レイヤ 2 スイッチ機能

(2)　VLAN

変更

表 3-7　VLAN のサポート数　［Ver.2.9 以降］

表 3-7　VLAN のサポート数

モデル	ポート当たり VLAN	装置当たり VLAN	ポートごと VLAN 数の装置での合計
IP8800/S2230-24T IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24T IP8800/S2130-24P	256	256	7168
IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-16P	256	256	5120
IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C	256	256	6656
IP8800/SS1240-48T2C	256	256	12800

（凡例）－：未サポート

3.2.8　冗長化構成による高信頼化機能

(1)　アップリンク・リダンダント

変更

表 3-33　アップリンク・リダンダントの収容条件　［Ver.2.9 以降］

表 3-33　アップリンク・リダンダントの収容条件

モデル	アップリンクポート数	アップリンクポート当たりの収容インタフェース数
IP8800/S2230-24T IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24T IP8800/S2130-24P	14	2
IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-16P	10	2
IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C	13	2

モデル	アップリンクポート数	アップリンクポート当たりの収容インタフェース数
IP8800/SS1240-48T2C	25	2

3.2.10 隣接装置情報（LLDP）

変更

表 3-41 隣接装置情報（LLDP）の収容条件 [Ver.2.9 以降]

表 3-41 隣接装置情報（LLDP）の収容条件

モデル	項目	最大収容数
IP8800/S2230-24T IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-16P IP8800/S2130-24T IP8800/S2130-24P	LLDP 隣接装置情報	28
IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C IP8800/SS1240-48T2C	LLDP 隣接装置情報	50

12　省電力機能

12.1　省電力機能の解説

12.1.2　LED 動作

(1)　LED 動作内容

変更

表 12-2　コンフィグレーションの LED 動作設定別の各種 LED 状態【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】

［Ver.2.9 以降］

コンフィグレーションコマンド system port-led の LED 動作設定による，各種 LED の状態を次の表に示します。

表 12-2　コンフィグレーションの LED 動作設定別の各種 LED 状態【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】

LED 種別	装置状態	コンフィグレーションコマンド system port-led の LED 動作設定			
		通常輝度（enable）		消灯（disable）	
		LED 状態	輝度状態	LED 状態	輝度状態
ST1	動作可能	緑点灯	通常	長い間隔の緑点滅	通常
	準備中	緑点滅	通常	緑点滅	通常
	初期状態	橙点灯	通常	橙点灯	通常
	部分障害	赤点滅	通常	赤点滅	通常
	致命的障害	赤点灯	通常	赤点灯	通常
	電源 OFF 電源異常	消灯	－	消灯	－
ACC	アクセス中	緑点灯	通常	緑点灯	通常
	アイドル中	消灯	－	消灯	－
LINK T/R　※1	リン未確立	緑点灯	通常	消灯	－
	送受信中	緑点滅	通常	消灯	－
	リンク未確立	消灯	－	消灯	－
	障害	消灯	－	消灯	－
1-24　※2	リンク確立	緑点灯	通常	消灯	－
1-16　※2	送受信中	緑点滅	通常	消灯	－
	障害	消灯	－	消灯	－

（凡例）

－：制御対象外

注※1

SFP ポートの LED です。

注※2

Gigabitethernet ポートの LED です。

(2)　LED 自動動作の契機

変更

表 12-5　自動動作の制御対象と動作範囲【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】［Ver.2.9 以降］

表 12-5　自動動作の制御対象と動作範囲【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】

LED 種別	LED 動作種別と自動動作の動作範囲		動作内容
	通常輝度	消灯	
ST1	○	―	常時通常輝度で点灯します。
ACC			
LINK，T/R　※1			2 段階の輝度制御によって，点灯状態が変化します。
1-24　※2			
1-16　※2			

（凡例）

○：制御対象

―：制御対象外

注※1

SFP ポートの LED です。

注※2

Gigabitethernet ポートの LED です。

14 イーサネット

14.8　Gigabitethernet（SFP）の解説

14.8.2　SFP 使用時の注意事項

追加

(6)　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時　［Ver.2.8 以降］

(6)　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP 使用時　【IP8800/S2100】

本装置では，SFP ポートで 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用の SFP-T を使用できます。

通信機能については，10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポートと，SFP ポートの接続で違いはありませんが，インタフェース種別は 1000BASE-T だけとなります。

14.10　PoE の解説【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

14.10.3　PoE の供給電力割り当て【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

(1)　収容条件

変更

表 14-27　本装置の PoE 機能　［Ver.2.9 以降］

変更前

表 14-27　同時接続（電力供給）可能な受電装置の接続数

項目名		仕様
モデル		IP8800/S2130-24P IP8800/SS1240-24P2C
本装置の PoE 供給電力		370.0W
PoE 供給可能ポート　※1	Class 0（15.4W）の場合	24 ポート　※2
	Class 1（4.0W）の場合	24 ポート
	Class 2（7.0W）の場合	24 ポート
	Class 3（15.4W）の場合	24 ポート
	Class 4（30.0W）の場合	12 ポート　※3

注※1

受電装置追加等により計算上供給電力をオーバーした場合は，優先度の低いポートから供給を遮断します。（ポート優先度が同じときは，ポート番号の大きいポートから電力供給を遮断します。）

注※2

ネゴシエーションできない受電装置は Class 0 として扱います。

注※3

30.0W を消費する受電装置の最大接続可能数は 12 ポートとなります。（30.0W× 12 ＝ 360.0W）

変更後

表 14-27　本装置の PoE 機能

機能			仕様			
モデル			IP8800/S2130-24P IP8800/SS1240-24P2C		IP8800/S2130-16P	
最大給電能力 ※1	装置全体		370.0W		250.0W	
	ポート当たり　※3		0/1～0/24	30.0W	0/1～0/16	30.0W
	Class ごと ※3	Class 0　※2	15.4W			
		Class 1	4.0W			
		Class 2	7.0W			
		Class 3	15.4W			
		Class 4	30.0W			

機能	仕様	
Pre.STD	未サポート	
優先制御	ポート 0/1～0/24 全体で管理	ポート 0/1～0/16 全体で管理

注※1

最大供給電力を超過時の設定および動作については，後述の「14.10.4　最大電力供給超過時の動作設定」を参照してください。

注※2

ネゴシエーションできない受電装置は Class 0 として扱います。

注※3

ポート当たりの PoE 給電割り当てについては，後述の「(2)　PoE 供給電力の割り当て」を参照してください。

(2)　PoE 供給電力の割り当て

変更

(c)　ポートに割り当てる電力の総和　　[Ver.2.9 以降]

(c)　ポートに割り当てる電力の総和

PoE 供給電力（ポートに割り当てる電力の総和）は「表 14-27　本装置の PoE 機能」に示す最大給電能力（装置全体）以下に設定してください。また，PoE 対応ポートに接続する受電装置は次の関係式を満たすように組み合わせてください。

ポートに割り当てる電力の総和（W）≧
Class 0 のポート数×出力電力（15.4W）＋
Class 1 のポート数×出力電力（4.0W）＋
Class 2 のポート数×出力電力（7.0W）＋
Class 3 のポート数×出力電力（15.4W）＋
Class 4 のポート数×出力電力（30.0W）＋
手動電力割り当て設定ポートの合計電力

14.10.4　最大電力供給超過時の動作設定

(4)　PoE の給電停止について

変更

(4)　PoE の給電停止について　　[Ver.2.9 以降]

(4)　PoE の給電停止について

受電装置への供給電力の総和が「表 14-27　本装置の PoE 機能」に示す最大給電能力（装置全体）をオーバーする場合，ポートに設定した優先度に従い電力の供給を停止します。装置では以下の値が最大給電能力（装置全体）を越えた場合に優先度の低い受電装置への給電を停止します。

給電状況判定値（「表 14-27　本装置の PoE 機能」の最大給電能力（装置全体））＜
Class 0 のポート数×出力電力（15.4W）＋
Class 1 のポート数×出力電力（4.0W）＋
Class 2 のポート数×出力電力（7.0W）＋

Class 3 のポート数×出力電力（15.4W）＋
Class 4 のポート数×出力電力（30.0W）＋
手動電力割り当て設定ポートの合計電力

ポート優先度が同じときは，ポート番号が大きいポートから電力供給を停止します。（ポート番号の小さいポートへの電力供給を優先します。）

また，既給電ポート優先の設定があるときは，ポート優先度の低いポートから電力供給を停止します。（既給電ポートへの電力供給を優先します。）

変更

(5)　**消費電力警告トラップ**　［Ver.2.9 **以降**］

変更前

(5)　電力供給警告通知

装置の最大電力供給能力は 370.0W であるため，各ポートの消費電力合計が 370.0W を超える場合に優先制御を実施します。なお，電力供給警告通知トラップの閾値は 340.0W（約 90%）としています。

変更後

(5)　消費電力警告トラップ

各ポートの消費電力合計が次に示す値以上になった場合はトラップを送信します。

・340.0W：IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1240-24P2C

・220.0W：IP8800/S2130-16P

18 アップリンク・リダンダント

18.1　解説

18.1.1　アップリンク・リダンダント動作

(1)　アップリンクポートの適用インタフェース

変更

表 18-2　プライマリポート・セカンダリポートの範囲と組み合わせ　［Ver.2.9 以降］

表 18-2　プライマリポート・セカンダリポートの範囲と組み合わせ

モデル	インタフェース種別	ポート番号範囲	プライマリ・セカンダリの組み合わせ
IP8800/S2230-24T IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24T IP8800/S2130-24P	イーサネット	gigabitethernet 0/1～0/28	いずれのインタフェースでも組み合わせ可能
	ポートチャネル	port-channel 1～8	
IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-16P	イーサネット	gigabitethernet 0/1～0/20	いずれのインタフェースでも組み合わせ可能
	ポートチャネル	port-channel 1～8	
IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C	イーサネット	fastethernet 0/1～0/24	いずれのインタフェースでも組み合わせ可能
		gigabitethernet 0/25～0/26	
	ポートチャネル	port-channel 1～8	
IP8800/SS1240-48T2C	イーサネット	fastethernet 0/1～0/48	いずれのインタフェースでも組み合わせ可能
		gigabitethernet 0/49～0/50	
	ポートチャネル	port-channel 1～8	

(2)　アップリンクポート数

変更

表 18-3　アップリンクポートの最大設定数　［Ver.2.9 以降］

表 18-3　アップリンクポートの最大設定数

モデル	最大設定数
IP8800/S2230-24T IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24T IP8800/S2130-24P	14
IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-16P	10
IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C	13
IP8800/SS1240-48T2C	25

第3編　コンフィグレーションコマンドレファレンス

1　このマニュアルの読み方

パラメータに指定できる値

■<IF#>の範囲

変更

表 1-4　<IF#>の値の範囲　［Ver.2.9 以降］

パラメータ<IF#> は"NIF No./Port No."の形式で指定します。本装置の"NIF No."は 0 固定です。

<IF#> の値の範囲を次の表に示します。

表 1-4　<IF#>の値の範囲【IP8800/S2100】

項番	モデル	イーサネット種別	値の範囲
1	IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P	gigabitethernet	0/1～0/20
2	IP8800/S2130-24T,IP8800/S2130-24P	gigabitethernet	0/1～0/28

6　装置の管理

system fan mode

変更

表 6-1　装置モデルごとの system fan mode 2**（冷却重視）設定時の動作**　［Ver.2.9 **以降**］

［注意事項］

表 6-1　装置モデルごとの system fan mode 2**（冷却重視）設定時の動作**

モデル	FAN 動作種別	コマンド設定時の動作
IP8800/S2230-24T IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-24T IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240-24T2C	FAN レス	FAN レス仕様のため，本コマンドを設定しても無効となります。
IP8800/SS1240-48T2C	準 FAN レス	冷却重視を設定時，system fan-control コマンド設定は無効（FAN 速度固定）となります。
IP8800/S2230-24P IP8800/SS1240-24P2C	FAN 速度固定	コマンド省略時および静音重視設定を指定した場合も冷却重視設定の動作となります。
IP8800/S2130-16P IP8800/S2130-24P	FAN 速度固定	コマンド省略時および静音重視設定を指定した場合は静音重視設定として動作します。 PoE 給電量によって，冷却 FAN 制御を行います。

system temperature-warning-level

変更

［パラメータ］　［Ver.2.9 **以降**］

［パラメータ］

<temperature>

温度（摂氏）を設定します。

1℃単位で設定可能です。

1.本パラメータ省略時の初期値

省略できません。

変更前

2.値の設定範囲

・IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1250-24T2C

25～50（℃）

・IP8800/S2230-24T，IP8800/S2130-24T，IP8800/SS1240-24T2C，IP8800/SS1240-24P2C，IP8800/SS1240-48T2C

25～45（℃）

変更後

2.値の設定範囲

温度の設定範囲を次の表に示します。

表 6-2　温度の設定範囲

モデル	値の設定範囲
IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-16P IP8800/S2130-24P IP8800/SS1250-24T2C	25～50（℃）
IP8800/S2230-24T IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-24T IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C IP8800/SS1240-48T2C	25～45（℃）

system temperature-warning-level average

変更

［パラメータ］　［Ver.2.9 以降］

［パラメータ］

<temperature>

平均温度（摂氏）を設定します。

1℃単位で設定可能です。

変更前

1.本パラメータ省略時の初期値

・IP8800/SS1250-24T2C

43（℃）

・IP8800/S2230-24T，IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24T，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1240-24T2C,

IP8800/SS1240-24P2C，IP8800/SS1240-48T2C

38（℃）

2.値の設定範囲

・IP8800/S2230-24P，IP8800/S2130-24P，IP8800/SS1250-24T2C

25～50（℃）

・IP8800/S2230-24T，IP8800/S2130-24T，IP8800/SS1240-24T2C，IP8800/SS1240-24P2C，IP8800/SS1240-48T2C

25～45（℃）

変更後

1.本パラメータ省略時の初期値

「表 6-3　温度の設定範囲と省略時の初期値」を参照してください。

2.値の設定範囲

「表 6-3　温度の設定範囲と省略時の初期値」を参照してください。

表 6-3　温度の設定範囲と省略時の初期値

モデル	値の設定範囲	省略時の初期値
IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-16P IP8800/S2130-24P	25～50（℃）	38（℃）
IP8800/SS1250-24T2C	25～50（℃）	43（℃）
IP8800/S2230-24T IP8800/S2130-16T IP8800/S2130-24T IP8800/SS1240-24T2C IP8800/SS1240-24P2C IP8800/SS1240-48T2C	25～45（℃）	38（℃）

7　省電力機能

power-control port cool-standby

変更

［注意事項］［Ver.2.8 以降］

［注意事項］

5. 1000BASE-X（SFP-T 含む）ポートは，リンクダウンポートの省電力機能が未サポートのため，本コマンドを設定しても動作しません。

schedule-power-control port cool-standby

変更

［注意事項］［Ver.2.8 以降］

［注意事項］

5. 1000BASE-X（SFP-T 含む）ポートは，リンクダウンポートの省電力機能が未サポートのため，本コマンドを設定しても動作しません。

8　イーサネット

duplex

追加
［パラメータ］［注意事項］［Ver.2.8 以降］

［パラメータ］

{half | full |auto}

ポートの接続モードを半二重固定，全二重固定またはオートネゴシエーションに設定します。
回線種別と設定可能なパラメータの組み合わせを次の表に示します。100BASE-FX の場合は，full を設定してください。

表 8-1　設定可能なパラメータ

回線種別	設定可能なパラメータ
10BASE-T/100BASE-TX	half，full，auto
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	half，full，auto
100BASE-FX【IP8800/SS1250】	full
1000BASE-X（SFP-T 含む）	full，auto

［注意事項］

1. speed または duplex のどちらか一方に auto または auto を含むパラメータを設定した場合，オートネゴシエーションを行います。
2. 1000BASE-X でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 1000 にするとともに，duplex を full にする必要があります。【IP8800/S2200】【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
3. 1000BASE-X（SFP-T 含む）でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 1000 にするとともに，duplex を full にする必要があります。【IP8800/S2100】
4. media-type を変更した場合，本コマンドの設定はデフォルト状態に戻ります。【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
5. media-type auto を設定した場合，本コマンドは設定できません。【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
6. UTP ポート（RJ45）を固定設定で使用する場合には MDI-X となります。
7. 100BASE-FX の場合，duplex を full に設定してください。【IP8800/SS1250】
8. half パラメータ設定は，10BASE-T/100BASE-TX の場合だけ設定が有効となります。

mdix auto

追加

［注意事項］［Ver.2.8 以降］

［注意事項］

6. SFP ポートでは本コマンドは無効です。（SFP-T 実装時を除く）【IP8800/S2100】

追加

［注意事項］

7. SFP ポートでは本コマンドは無効です。【IP8800/S2200】

speed

追加
［パラメータ］［注意事項］［Ver.2.8 以降］

［パラメータ］

{ 10 | 100 | 1000 | auto | auto {10 | 100 | 1000 | 10 100 | 10 100 1000} }

回線速度を設定します。

回線種別と設定可能なパラメータの組み合わせを次の表に示します。100BASE-FX の場合は，100 を設定してください。auto ではリンクアップしません。

表 8-4　設定可能なパラメータ

回線種別	設定可能なパラメータ
10BASE-T/100BASE-TX	10 100 auto auto 10 auto 100 auto 10 100
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	10 100 auto auto 10 auto 100 auto 1000 auto 10 100 auto 10 100 1000
100BASE-FX【IP8800/SS1250】	100
1000BASE-X（SFP-T 含む）	1000 auto auto 1000

［注意事項］

1. speed または duplex のどちらか一方に auto または auto を含むパラメータを設定した場合，オートネゴシエーションを行います。
2. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 10 または 100 にするとともに，duplex を full または half にする必要があります。【IP8800/S2200】【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
3. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（UTP）でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 10 または 100 にするとともに，duplex を full または half にする必要があります。【IP8800/S2100】
4. 1000BASE-X でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 1000 にするとともに，duplex を full にする必要があります。【IP8800/S2200】【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
5. 1000BASE-X（SFP-T 含む）でオートネゴシエーションを使用しない場合，speed を 1000 にするとともに，duplex を full にする必要があります。【IP8800/S2100】

6. media-type を変更した場合，本コマンドの設定はデフォルト状態に戻ります。【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
7. media-type auto を設定した場合，本コマンドは設定できません。デフォルト値でご使用ください。【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】
8. UTP ポート（RJ45）を固定設定で使用する場合には MDI-X となります。
9. 100BASE-FX はオートネゴシエーション未サポートのため，speed を 100 に設定してください。auto ではリンクアップしません。【IP8800/SS1250】

1　このマニュアルの読み方

パラメータに指定できる値

■<IF#>の範囲

変更

表 1-4　<IF#>の値の範囲　［Ver.2.9 以降］

パラメータ<IF#> は"NIF No./Port No."の形式で指定します。本装置の"NIF No."は 0 固定です。

<IF#> の値の範囲を次の表に示します。

表 1-4　<IF#>の値の範囲【IP8800/S2100】

項番	モデル	イーサネット種別	値の範囲
1	IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-16P	gigabitethernet	0/1～0/20
2	IP8800/S2130-24T,IP8800/S2130-24P	gigabitethernet	0/1～0/28

7　装置の管理

show version

変更

表 7-1　show version **コマンド表示内容一覧**　［Ver.2.9 **以降**］

［表示説明］

表 7-1　show version **コマンド表示内容一覧**

表示項目	表示形式	意味
Model	装置モデル	装置モデル名を表示します。 IP8800/S2200 の場合 ・IP8800/S2230-24T ・IP8800/S2230-24P IP8800/S2100 の場合 ・IP8800/S2130-16T ・IP8800/S2130-16P ・IP8800/S2130-24T ・IP8800/S2130-24P IP8800/S2100S の場合 ・IP8800/S2130S-16T ・IP8800/S2130S-16P ・IP8800/S2130S-24T ・IP8800/S2130S-24P IP8800/SS1250 の場合 ・IP8800/SS1250-24T2C IP8800/SS1240 の場合 ・IP8800/SS1240-24T2C ・IP8800/SS1240-24P2C ・IP8800/SS1240-48T2C
（略）		

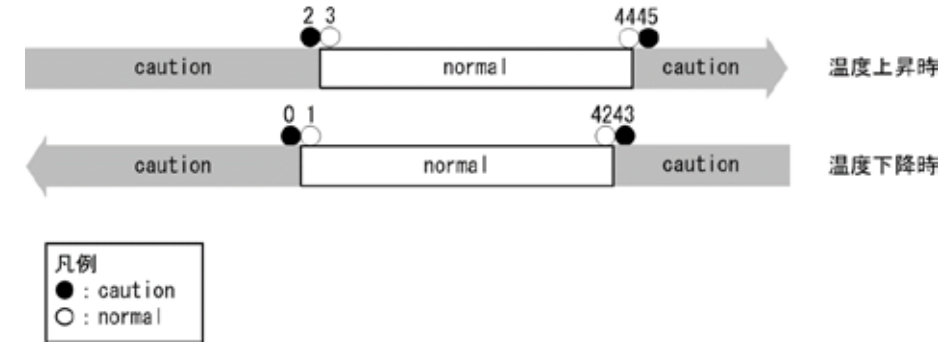
show environment

変更

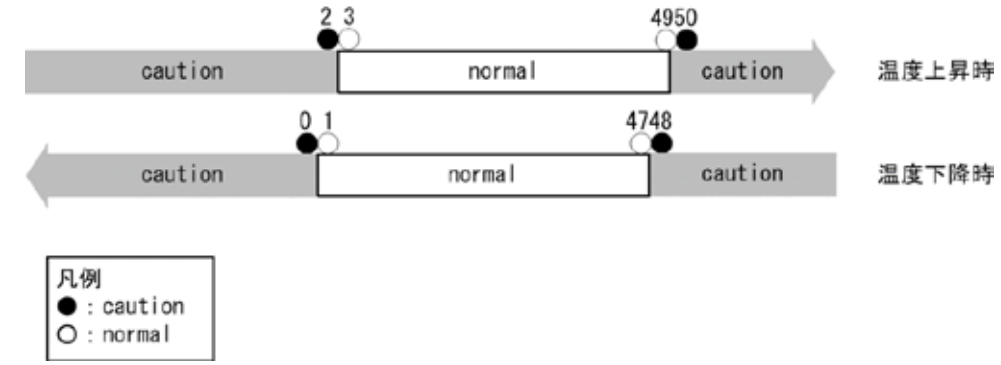
図 7-5　運用環境レベルと温度値【IP8800/S2100】　［Ver.2.9 以降］

図 7-5　運用環境レベルと温度値【IP8800/S2100】

【IP8800/S2130-16T,IP8800/S2130-24T】



【IP8800/S2130-16P,IP8800/S2130-24P】



14　イーサネット

show interfaces

変更

［実行例 3］［実行例 4］［実行例 3，4 の表示説明］　［Ver.2.4 以降］

［実行例 3］

図 14-4a　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 指定実行結果画面　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】

```
> show interfaces gigabitethernet 0/1

Date 20XX/07/26 11:55:47 UTC
Port 0/1 : active up  1000BASE-T full(auto)  0012.e210.0101
        PoE status: on        Class: 4       Priority: critical
        Time-since-last-status-change: 01:57:05
        Bandwidth: 1kbps  Average out: 1Mbps  Average in: 0Mbps
        Peak out: 325Mbps at 11:50:03  Peak in: 0Mbps at 00:00:00
        Output rate:        6.5kbps          13pps
        Input  rate:          0bps           0pps
        Flow control send   : off
        Flow control receive: off
        TPID: 8100
        Frame size: 9019 Octets   Interface name: gigaether0/1
        Description: Port 0/1
       <Out octets/packets counter>       <In octets/packets counter>
        Octets      :         27015914420  Octets      :                0
        All packets :             6047414  All packets :                0
        Multicast packets     :   1500284  Multicast packets     :       0
        Broadcast packets     :   3031859  Broadcast packets     :       0
        Pause packets         :         0  Pause packets         :       0
       <Out line error counter>
        Late collision        :         0  Defer indication      :       0
        Single collision      :         0  Excessive deferral    :       0
        Multiple collisions   :         0  Excessive collisions  :       0
        Error frames          :         0
       <In line error counter>
        CRC errors            :         0  Symbol errors         :       0
        Alignment             :         0  Fragments             :       0
        Short frames          :         0  Jabber                :       0
        Long frames           :         0  Error frames          :       0
       <Line fault counter>
        Link down             :         0

>
```

［実行例 4］

図 14-5a　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 詳細統計情報指定実行結果画面　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】

```
> show interfaces gigabitethernet 0/1 detail

Date 20XX/07/26 11:55:48 UTC
Port 0/1 : active up  1000BASE-T full(auto)  0012.e210.0101
        PoE status: on        Class: 4       Priority: critical
        Time-since-last-status-change: 01:57:06
```

```
       Bandwidth: 1kbps  Average out: 1Mbps  Average in: 0Mbps
       Peak out: 325Mbps at 11:50:03  Peak in: 0Mbps at 00:00:00
       Output rate:        7.6kbps          15pps
       Input  rate:           0bps           0pps
       Flow control send   : off
       Flow control receive: off
       TPID: 8100
       Frame size: 9019 Octets   Interface name: gigaether0/1
       Description: Port 0/1
      <Out octets/packets counter>       <In octets/packets counter>
       Octets      :         27015916232  Octets      :                0
       All packets :             6047441  All packets :                0
       Multicast packets     :   1500287  Multicast packets     :       0
       Broadcast packets     :   3031873  Broadcast packets     :       0
       Pause packets         :         0  Pause packets         :       0
       64 packets            :     74748  64 packets            :       0
       65-127 packets        :     67627  65-127 packets        :       0
       128-255 packets       :     84836  128-255 packets       :       0
       256-511 packets       :    170187  256-511 packets       :       0
       512-1023 packets      :    341353  512-1023 packets      :       0
       1024-1518 packets     :    327927  1024-1518 packets     :       0
      <Out line error counter>
       Late collision        :         0  Defer indication      :       0
       Single collision      :         0  Excessive deferral    :       0
       Multiple collisions   :         0  Excessive collisions  :       0
       Error frames          :         0
      <In line error counter>
       CRC errors            :         0  Symbol errors         :       0
       Alignment             :         0  Fragments             :       0
       Short frames          :         0  Jabber                :       0
       Long frames           :         0  Error frames          :       0
      <Line fault counter>
       Link down             :         0

>
```

［実行例 3，4 の表示説明］

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，100BASE-FX/1000BASE-X のインタフェース情報，ポートの詳細情報と統計情報の表示項目の説明を次の表に示します。

表 14-3　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，100BASE-FX/1000BASE-X の summary 情報表示

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
（略）		
＜回線種別＞	10BASE-T half	10BASE-T 半二重　【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】
	10BASE-T half(auto)	10BASE-T 半二重　【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	10BASE-T full	10BASE-T 全二重　【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】
	10BASE-T full(auto)	10BASE-T 全二重　【IP8800/S2200】

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
		【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	100BASE-TX half	100BASE-TX 半二重 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】
	100BASE-TX half(auto)	100BASE-TX 半二重 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	100BASE-TX full	100BASE-TX 全二重 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】
	100BASE-TX full(auto)	100BASE-TX 全二重 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	1000BASE-T full(auto)	1000BASE-T 全二重 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	（略）	
	―	回線種別が不明です。 以下の場合，本表示となります。 ・ポート状態が active up 以外 ・media-type が SFP で，connect 以外の場合 【IP8800/SS1250】【IP8800/SS1240】 ・トランシーバ状態が connect 以外 【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
<MAC アドレス>	該当ポートの MAC アドレス	
PoE Status ※10 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】	ポートの PoE 状態を表示します。	
	on	電力を供給しています。
	off	電力を供給していません。
	faulty	接続された装置に電力を供給できません。
	denied	十分な電力がなく，電力を供給していません。
	inact	運用コマンドで電力の供給を停止しています。
Class ※10 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】	供給中の IEEE802.3af/IEEE802.3at 準拠電力供給クラス，または手動による電力供給割り当てを表示します。	
	0	Class0(15.4W)
	1	Class1(4.0W)
	2	Class2(7.0W)
	3	Class3(15.4W)
	4	Class4(30.0W)
	manual	手動による電力供給割り当て
	―	無効
Priority ※10 【IP8800/S2200】	設定した電力供給の優先度を表示します。	
	critical	ポート優先度設定が有効で，最重要ポートとして電力供

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
【IP8800/S2100】		給を保証します。
	high	ポート優先度設定が有効で，電力供給の優先度を高で供給します。
	log	ポート優先度設定が有効で，電力供給の優先度を低で供給します。
	―	ポート優先度設定が無効で，電力を供給します。
	never	PoE 機能無効です。
<トランシーバ種別>	SFP	
<トランシーバ状態>	connect	実装
	not connect	未実装
	not support	未サポートのトランシーバが実装

注※10　PoE モデルだけ表示します。

変更

［実行例 3］［実行例 4］［実行例 3，4 の表示説明］　［Ver.2.8 以降］

［実行例 3］

図 14-4b　1000BASE-T(SFP-T) 指定実行結果画面　【IP8800/S2100】

```
> show interfaces gigabitethernet 0/20

Date 20XX/07/26 11:55:51 UTC
Port 0/28 : active up  1000BASE-T full(auto)  0012.e210.011C
        SFP connect
        Time-since-last-status-change: 01:56:59
        Bandwidth: 1000000kbps  Average out: 101Mbps  Average in: 706Mbps
        Peak out: 331Mbps at 11:50:03  Peak in: 1000Mbps at 11:51:27
        Output rate:       95.4Mbps        2.6kpps
        Input  rate:      662.8Mbps       14.7kpps
        Flow control send   : off
        Flow control receive: off
        TPID: 8100
        Frame size: 9038 Octets   Interface name: gigaether0/20
        Description:
       <Out octets/packets counter>       <In octets/packets counter>
        Octets      :         89213510238  Octets      :        619398617048
        All packets :            19606804  All packets :          1443757192
        Multicast packets     :   4899190  Multicast packets     :  81030388
        Broadcast packets     :   9802360  Broadcast packets     :  19611020
        Pause packets         :       336  Pause packets         :  71222017
       <In line error counter>
        CRC errors            :         0  Symbol errors         :         0
        Fragments             :         0  Short frames          :         0
        Jabber                :         0  Long frames           :         0
        Error frames          :         0
       <Line fault counter>
        Link down             :         0
```

```
>
```

［実行例 4］

図 14-5b　1000BASE-T(SFP-T) 詳細統計情報指定実行結果画面　【IP8800/S2100】

```
> show interfaces gigabitethernet 0/28 detail

Date 20XX/07/26 11:55:52 UTC
Port 0/28 : active up  1000BASE-T full(auto)  0012.e210.011C
        SFP connect
        Time-since-last-status-change: 01:57:01
        Bandwidth: 1000000kbps  Average out: 101Mbps  Average in: 705Mbps
        Peak out: 331Mbps at 11:50:03  Peak in: 1000Mbps at 11:51:27
        Output rate:      104.4Mbps        2.9kpps
        Input  rate:      726.9Mbps       16.2kpps
        Flow control send   : off
        Flow control receive: off
        TPID: 8100
        Frame size: 9038 Octets   Interface name: gigaether0/20
        Description:
       <Out octets/packets counter>       <In octets/packets counter>
        Octets      :         89228521649  Octets      :        619503105947
        All packets :            19610113  All packets :          1444000560
        Multicast packets     :   4900033  Multicast packets     :  81044043
        Broadcast packets     :   9804005  Broadcast packets     :  19614324
        Pause packets         :       336  Pause packets         :  71234023
        64 packets            :      2606  64 packets            :1305961468
        65-127 packets        :    137193  65-127 packets        :    274269
        128-255 packets       :    280050  128-255 packets       :    560222
        256-511 packets       :    560135  256-511 packets       :   1120250
        512-1023 packets      :   1118725  512-1023 packets      :   2236627
        1024-1518 packets     :   1081252  1024-1518 packets     :  73400731
       <In line error counter>
        CRC errors            :         0  Symbol errors         :         0
        Fragments             :         0  Short frames          :         0
        Jabber                :         0  Long frames           :         0
        Error frames          :         0
       <Line fault counter>
        Link down             :         0

>
```

［実行例 3，4 の表示説明］

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，100BASE-FX/1000BASE-X のインタフェース情報，ポートの詳細情報と統計情報の表示項目の説明を次の表に示します。

表 14-3　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，100BASE-FX/1000BASE-X の summary 情報表示

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
（略）		
＜回線種別＞	10BASE-T half ※11	10BASE-T 半二重　【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
	10BASE-T half(auto) ※11	10BASE-T 半二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	10BASE-T full ※11	10BASE-T 全二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
	10BASE-T full(auto) ※11	10BASE-T 全二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	100BASE-TX half ※11	100BASE-TX 半二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
	100BASE-TX half(auto) ※11	100BASE-TX 半二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	100BASE-TX full ※11	100BASE-TX 全二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
	100BASE-TX full(auto) ※11	100BASE-TX 全二重　【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	1000BASE-T full(auto)	1000BASE-T 全二重 （オートネゴシエーションにより，上記回線種別となりました）
	（略）	
（略）		
PoE Status ※10 ※11 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】	ポートの PoE 状態を表示します。	
	on	電力を供給しています。
	off	電力を供給していません。
	faulty	接続された装置に電力を供給できません。
	denied	十分な電力がなく，電力を供給していません。
	inact	運用コマンドで電力の供給を停止しています。
Class ※10 ※11 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】	供給中の IEEE802.3af/IEEE802.3at 準拠電力供給クラス，または手動による電力供給割り当てを表示します。	
	0	Class0(15.4W)
	1	Class1(4.0W)
	2	Class2(7.0W)
	3	Class3(15.4W)
	4	Class4(30.0W)
	manual	手動による電力供給割り当て
	―	無効
Priority ※10 ※11 【IP8800/S2200】 【IP8800/S2100】	設定した電力供給の優先度を表示します。	
	critical	ポート優先度設定が有効で，最重要ポートとして電力供給を保証します。

表示項目	表示内容	
	詳細情報	意味
	high	ポート優先度設定が有効で，電力供給の優先度を高で供給します。
	log	ポート優先度設定が有効で，電力供給の優先度を低で供給します。
	―	ポート優先度設定が無効で，電力を供給します。
	never	PoE 機能無効です。

注※10　PoE モデルだけ表示します。

注※11　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T（UTP）の場合だけ表示します。

show port

変更
［実行例 4］［実行例 4 の表示説明］　［Ver.2.8 以降］

［実行例 4］

図 14-9　トランシーバの情報一覧表示実行結果画面例

```
> show port transceiver

Date 20XX/07/26 11:54:00 UTC
Port Counts: 4
Port: 0/25 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-SX
           Vendor name: FINISAR CORP.         Vendor SN : PDC2FSX
           Vendor PN  : FTLF8519P2BNL         Vendor rev: A
           Tx power   : -4.8dBm               Rx power  : -
Port: 0/26 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-SX
           Vendor name: FINISAR CORP.         Vendor SN : PK64D8V
           Vendor PN  : FTLF8519P2BNL         Vendor rev: A
           Tx power   : -5.5dBm               Rx power  : -29.6dBm
Port: 0/27 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-T
           Vendor name: FINISAR CORP.         Vendor SN : PJT5C19
           Vendor PN  : FCLF-8520-3           Vendor rev: A
           Tx power   : -                     Rx power  : -
Port: 0/28 Status: connect      Type: SFP  Speed: 1000BASE-T
           Vendor name: FINISAR CORP.         Vendor SN : PJT5JZ1
           Vendor PN  : FCLF-8520-3           Vendor rev: A
           Tx power   : -                     Rx power  : -

>
```

［実行例 4 の表示説明］

表 14-8　トランシーバ情報一覧の表示説明

表示項目	意味	表示詳細情報
Port Counts	対象ポート数	―
Port	ポート	インタフェースポート番号
Status	トランシーバ状態	connect：実装 notconnect：未実装 not support：未サポートのトランシーバが実装 -：トランシーバ状態が不明（不完全接続等）※1
Type	トランシーバ種別	SFP：SFP
Speed	回線速度	1000BASE-T：1000BASE-T【IP8800/S2100】 1000BASE-SX：1000BASE-SX 1000BASE-SX2：1000BASE-SX2 1000BASE-LX：1000BASE-LX 1000BASE-LH：1000BASE-LH 1000BASE-BX10-D：1000BASE-BX10-D 1000BASE-BX10-U：1000BASE-BX10-U

表示項目	意味	表示詳細情報
		1000BASE-BX40-D：1000BASE-BX40-D 1000BASE-BX40-U：1000BASE-BX40-U -：回線速度が不明
Vendor name	ベンダ名	ベンダ名を表示します。※2
Vendor SN	ベンダシリアル番号	ベンダで付与されたシリアル番号を表示します。※2
Vendor PN	ベンダ部品番号	ベンダで付与された部品番号を表示します。※2
Vendor rev	ベンダリビジョン	ベンダで付与された部品番号のリビジョンを表示します。※2
Tx Power	送信光パワー	送信光パワーを dBm で表示します。※2※3※4
Rx Power	受信光パワー	受信光パワーを dBm で表示します。※2※3※4

注※1 "-"を表示した場合は，再度ケーブルを接続しなおしてください。

注※2 トランシーバ状態が connect または not support 以外の場合は"-" を表示します。接続した状態で"-"表示と

なった場合は，再度コマンドを実行するか，ケーブルを再度接続しなおしてください。再度コマンドを実行することにより情報を表示します。

注※3 光パワーが「-40dBm～+8.2dBm」の範囲外の場合は"-"を表示します。

注※4 環境条件によって誤差が発生する場合があります。正確な値を調べるには，測定器で測定してください。

show power inline

変更

図 14-13a　PoE **情報表示実行結果画面**　［Ver.2.9 **以降**］

表 14-14　**装置全体の電力使用状況表示内容**　［Ver.2.9 **以降**］

［実行例］

図 14-13　PoE **情報表示実行結果画面**

```
> show power inline
Please wait a little.

Date 20XX/05/22 20:41:27 UTC
System Wattage       :   370.0                    ┐
Threshold(W)         :   370.0                    │
Total Allocate(W)    :   116.0                    │1.
Total Power(W)       :    19.1                    │
Priority Control     :  enable                    │
Port Counts          :      24                    ┘

Date 20XX/10/26 11:56:05 UTC
System Wattage       :   250.0                    ┐
Threshold(W)         :   250.0                    │
Total Allocate(W)    :   238.0                    │2.
Total Power(W)       :   230.3                    │
Priority Control     :  enable                    │
Port Counts          :      16                    ┘

Date 20XX/11/07 14:18:40 UTC
System Wattage:                                   ┐
Threshold(W)         :   370.0                    │
Total Allocate(W)    :   146.6                    │3.
Total Power(W)       :    87.1                    │
Priority Control     :  enable                    │
Port Counts          :      24                    ┘
```

1. IP8800/S2130-24P の場合

2. IP8800/S2130-16P の場合

3. IP8800/SS1240 の場合

［実行例 2 **の表示説明**］【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

表 14-14　**装置全体の電力使用状況表示内容**

表示項目	意味	表示詳細情報
System Wattage	装置全体の電力量	370.0（固定）：IP8800/S2130-24P 250.0（固定）：IP8800/S2130-16P 空欄【IP8800/SS1240】
（略）		

activate power inline【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

変更
［パラメータ］　［Ver.2.9 **以降**］

［パラメータ］

gigabitethernet【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T インタフェースを指定します。

fastethernet【IP8800/SS1240】
　10BASE-T/100BASE-TX インタフェースを指定します。

変更前

<IF#>
　インタフェースポート番号を指定します。指定できる値の範囲は 0/1～0/24 です。

変更後

<IF#>
　インタフェースポート番号を指定します。指定できる値の範囲を次の表に示します。

表 14-16a　**インタフェースポート番号指定範囲**

モデル	値の設定範囲
IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24P IP8800/SS1240-24P2C	0/1～0/24
IP8800/S2130-16P	0/1～0/16

inactivate power inline【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

変更
［パラメータ］　［Ver.2.9 **以降**］

［パラメータ］

gigabitethernet【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】
　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T インタフェースを指定します。

fastethernet【IP8800/SS1240】
　10BASE-T/100BASE-TX インタフェースを指定します。

変更前

<IF#>
　インタフェースポート番号を指定します。指定できる値の範囲は 0/1～0/24 です。

変更後

<IF#>
　インタフェースポート番号を指定します。指定できる値の範囲を次の表に示します。

表 14-17a　インタフェースポート番号指定範囲

モデル	値の設定範囲
IP8800/S2230-24P IP8800/S2130-24P IP8800/SS1240-24P2C	0/1～0/24
IP8800/S2130-16P	0/1～0/16

2　装置関連の障害およびイベント情報

2.5　ポート

2.5.2　イベント発生部位=SFP

追加

表 2-52　**イベント発生部位**=SFP **の装置関連の** INFO **情報**　［Ver.2.8 **以降**］

表 2-52a　**イベント発生部位**=SFP **の装置関連の** WARN **情報**　［Ver.2.8 **以降**］

表 2-52　**イベント発生部位**=SFP **の装置関連の** INFO **情報**

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
9a	INFO	SFP		Detect to mount Transceiver module[1000BASE-T] on the port(<IF#>).　【IP8800/S2100】
	ポートにトランシーバ［1000BASE-T］が挿入されています。 <IF#>：インタフェースポート番号 [対応] なし。			

表 2-52a　**イベント発生部位**=SFP **の装置関連の** WARN **情報**

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
1	WARN	SFP		SFP-T access error (<IF#>).　【IP8800/S2100】
	ポートに挿入した SFP-T トランシーバでエラーが発生しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 ［対応］ 正規のトランシーバであることを確認して挿入し直してください。 接触不良により，正規のトランシーバが認識できない場合があります。再度挿入し直してください。 回復しない場合はトランシーバを交換してください。			
2	WARN	SFP		SFP-T access recovered (<IF#>). 【IP8800/S2100】
	ポートに挿入した SFP-T トランシーバのエラーが回復しました。 <IF#>：インタフェースポート番号 ［対応］ なし。			

2.5.3 イベント発生部位=FABRIC

追加

表 2-57 イベント発生部位=FABRIC の装置関連の FATAL 情報 ［Ver.2.8 以降］

表 2-57 イベント発生部位=FABRIC の装置関連の FATAL 情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	メッセージテキスト
	内容			
8	FATAL	FABRIC	1d120000 1d121000	Hardware restarted because of its failure.(<code>) 【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】
	装置にハードウェア障害が発生したので，再起動を行いました。 <code>：エラー情報（メーカ解析用情報） [対応] 障害を継続的に検出する場合，装置を交換してください。			

2 標準 MIB

2.13　powerEthernetMIB グループ(Power EthernetMIB)【IP8800/S2200】【IP8800/S2100】【IP8800/SS1240】

変更

表 2-24　pethMainPseObjects **の実装仕様**　［Ver2.9 **以降**］

表 2-24　pethMainPseObjects **の実装仕様**

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	pethMainPseUsageThreshold {pethMainPseEntry 5}	R/NW	[規格] 消費電力の閾値（パーセント表記）（1～99） （閾値を超過した場合アラーム通知を行う） [実装] IP8800/S2130-16P：88 固定。 上記以外　　：90 固定。	●

3　プライベート MIB

3.13　ax2130sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）

変更

表 3-34　ax2130sSwitch グループの実装仕様　［Ver.2.9 以降］

表 3-34　ax2130sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax2130sModelType {ax2130sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報（数値）。 ・IP8800/S2130-24T（2100） ・IP8800/S2130-24P（2101） ・IP8800/S2130-16T（2102） ・IP8800/S2130-16P（2105）	●

3.14　ax2130sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）

3.14.1　ax2130sChassis グループの実装仕様（筐体情報）

変更

表 3-35　ax2130sChassis グループの実装仕様(筐体情報)　［Ver.2.9 以降］

表 3-35　ax2130sChassis グループの実装仕様(筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax2130sChassisType {ax2130sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 ・IP8800/S2130-24T（2100） ・IP8800/S2130-24P（2101） ・IP8800/S2130-16T（2102） ・IP8800/S2130-16P（2105）	●
26	ax2130sFanNumber {ax2130sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のメインファンの数。 ・IP8800/S2130-24T の場合：0 ・IP8800/S2130-24P の場合：2 ・IP8800/S2130-16T の場合：0 ・IP8800/S2130-16P の場合：2	●
28	ax2130sCriticalAccumRunTime {ax2130sChassisEntry 25}	INTEGER	R/O	・IP8800/S2130-24T,IP8800/S2130-16T の場合： 摂氏 45 度以上の環境下での稼働時間。 ・上記以外の場合：摂氏 50 度以上の環境下での稼働時間。	●

3.14.4　ax2130sChassis グループの実装仕様（ファン情報）

変更

表 3-38　ax2130sChassis グループの実装仕様(ファン情報)　［Ver.2.9 以降］

表 3-38　ax2130sChassis グループの実装仕様(ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax2130sFanIndex {ax2130sFanEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	メインファン位置を示すインデックス。 ・IP8800/S2130-24T の場合：なし ・IP8800/S2130-24P の場合：1～2 ・IP8800/S2130-16T の場合：なし ・IP8800/S2130-16P の場合：1～2	●

3.14.5　ax2130sChassis グループの実装仕様（line（物理回線）情報）

変更

表 3-39　ax2130sPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)　［Ver.2.8 以降］

表 3-39　ax2130sPhysLine グループの実装仕様(line(物理回線)情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax2130sPhysLineConnectorType {ax2130sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。 ・other(1) ・type1000BASE-LX(301) ・type1000BASE-SX(302) ・type1000BASE-LH(303) ・type1000BASE-BX10-D(304) ・type1000BASE-BX10-U(305) ・type1000BASE-BX40-D(306) ・type1000BASE-BX40-U(307) ・type1000BASE-SX2(308) ・type1000BASE-UTP(309)【IP8800/S2100】 次の場合は other（1）を応答します。 ・種別が不明または交換不可のトランシーバ	●